



# 清南小だより



R6・7・19  
校長 佐藤 裕

～たくましい子・思いやりのある子・よく学ぶ子～

## 4月からの成長を振り返り、41日間の有意義な夏休みを・・・

夏休み前の最終登校日である7月19日（金）を迎え、2～6年生は、4月8日（月）の始業式から71日を、1年生は、4月10日（水）の入学式から69日を過ごしました。1学期の授業日数は100日（1年生は98日）、1年間の授業日数は200日（1年生は198日）ですので、1学期の授業日数の約三分の二、1年間の授業日数の約三分の一を経過したことになります。

1年生や2年生が5月に植えたアサガオや数々の野菜が、今ではたくさんの花を咲かせたり実を付けたりしています。また、5年生が植えた田の苗や全児童で植えた学校農園のサツマイモは、驚くほどに大きく成長しています。子供たちも、およそ70日間の学校生活を通して、一人一人がそれぞれのペースで成長してくれたことを、大変うれしく思います。保護者の皆様におかれましては、およそ70日間の子供たちの頑張りや成長を子供たちと一緒に振り返り、たくさん褒めていただければ幸いです。

明日からは、子供たちが楽しみにしている41日間の夏休みが始まります。家庭で過ごす時間が充実したものとなり、一人一人にとって有意義な夏休みとなることを願っています。夏休み明けの8月30日（金）には、大好きな子供たちの元気いっぱいの笑顔に会えることを心から楽しみにしています。



## 生き生きと活動する児童の姿を目指して 【7月12日（金）】

算数

河内教育事務所から指導主事の先生をお招きして、第1回要請訪問を行いました。今年度の本校の研究主題は「算数科における指導と評価の一体化 ～生き生きと活動する児童の姿を目指して～」です。意欲をもって粘り強く課題解決に取り組む児童の姿が数多く見られました。



### 3年2組 算数「あまりのあるわり算」

「問：モモが17こあります。1袋に5こずつ入れると何ふくろに分けられますか」について、かけ算九九、ひき算、たし算、図、ブロック等を使って考え、図や式を使ってまとめました。さらに、グループや全体で話し合い、考えを深めることを通して、あまりのあるわり算の意味や式の立て方について、理解することができました。



### 6年2組 算数「分数のわり算」

「 $\frac{5}{4}$ mのリボン①と、 $\frac{3}{4}$ mのリボン②があります。②の長さは、①の長さの何倍ですか」について、かけ算・数直線・簡単な数字への置き換え等を用いて、立式の仕方や計算の方法について考えをまとめました。ノートを写真で撮り1人1台端末で全体に共有することで考えを深め、分数でも基準量を明確にすると何倍かを求められることを確認できました。



## 特色ある学校づくり「人とのふれあい」を通して ～様々な体験が育てる～

<p>6月14日(金) 3年生</p> <p>リコーダー講習会では、講師の先生から、指の使い方や息の吹き方を教えてもらいました。映画「ハウルの動く城」のテーマ曲も演奏してくれました。</p> 	<p>6月24日(月) 全学年</p> <p>市役所生活安心課の方による交通安全教室を行いました。走っている人や自転車は周囲の様子が見えづらいことを、実験を通して確認しました。</p> 	<p>6月27日(木) 6年生</p> <p>宮っ子伝統文化体験教室では、伝統工芸士の先生から宇都宮の伝統工芸である「黄ぶな」の由来を聞いたり、張り子の絵付け体験をしたりしました。</p> 
<p>7月10日(水) 5年生</p> <p>人権擁護委員の先生と「人権について考える」授業を行いました。クラス中を巻き込んだ「いじめ」に関するDVDを観て、意見を交換しました。</p> 	<p>7月11日(木) 1年生</p> <p>栃木県庁くらし安全安心課の方による「地域安全教室」を通して、犯罪や交通事故が起きやすい場所や「いかのおすし」の合言葉を教えてもらいました。</p> 	<p>7月17日(水) 全学年</p> <p>計画委員会による「ふれあい集会」が行われました。学校に係るクイズを通して縦割り班の友達と交流を深めることができました。</p> 

## 特色ある学校づくり「本とのふれあい」を通して ～豊かな情操を育む～

<p>読み聞かせボランティア「南風」</p> <p>南風の皆様が選んだ本の読み聞かせに、子供たちは身を乗り出して聞き入っていました。</p> 	<p>夏休みの課題図書を紹介</p> <p>図書委員の児童が、「夏休みの課題図書」のコーナーに、本の紹介コメントを付けてくれました。</p> 	<p>先生方による読み聞かせ</p> <p>夏休みを前に、担任の先生が大好きな本や夏に係る本等の読み聞かせを行いました。</p> 
--	---	--

### 荒井退造さんの生き方「強い信念をもって、あきらめずにやり通す」から学ぶ



7月19日(金)の朝会で、本校の卒業生である荒井退造さんの話をしました。荒井さんは、第二次世界大戦時に沖縄県の警察部長を務め、命が何よりも大切であるという強い信念のもと、島田叡知事とともに疎開を進め、沖縄県のべ20万人の命を救った方です。

8月15日(木)は終戦の日です。荒井退造さんの生き方から学ぶとともに、「SDGs(持続可能な開発目標)」にある「16 平和と公正をすべての人に」の観点から、世界の平和について考えを広げてほしいと思います。

